

<b>バス停タイムス</b>	2012年11月28日	No.4
	発行者	成田隆浩
	編集者	教宣部
	JR東海労働組合新幹線地方本部	

# SEK本社と団体交渉をおこないました！

新幹線大井基地で働く皆さん！おはようございます。寒い日が続くようになりました。かぜなどひかないようお互いに注意しましょう。

さて、JR東海労新幹線地本は11月21日、出向先会社の労働条件改善要求について新幹線エンジニアリング株式会社（SEK）本社と団体交渉を開催しました。今後も労働条件・職場環境を改善するためさらに取り組みを進めます。

## 65歳まで安心して働ける労働条件に！

60歳を越えると体力的にも衰えていくため、便器の交換など重量物を扱う業務は非常に苦痛となります。そして、65歳まで働き続けることに不安がつのります。よって、60歳を過ぎたら重量物を扱う作業についての配慮を求めました。

この要求に対しSEK側は「体力的には個人差があり年齢により一律に業務内容を変更する考えはない」「また、重量物については2人以上で取り扱うよう指導しているため、現状で問題ないと考えている」と回答しました。

組合側は「中腰など不自然な姿勢での作業は負担が大きいという認識をもっているのか」と質しました。

その結果「その認識はしている。その日の体調、腰痛など本人の申告があれば担務は検討する」ことを確認しました。

## 雨ガッパの個人配布を！

第二修繕の作業員に対して雨ガッパが個人配布されていないため、個人配布することを求めました。SEK側は「雨ガッパは供用で20着用意している。サイズが合わない場合などは申告により対応している」と回答しました。

組合側は「本当に20着あるのか。現場の認識と違うようだ」と問い返しました。そして、20着あるかお互いに再度確認することになりました。

# 作業するための十分な教育を！

教育・見習について、見習期間中に特殊作業（700系シロッコファン清掃など）に携わらないケースが発生し、本務になり突然対応することがあります。このことは、安全上問題があり、特殊作業については十分な教育をおこなうように要求しました。



SEK側は「見習終了後に未経験の作業が発生した場合は、経験者をつけて作業させているので現状で問題ない」と回答しました。

組合側は「経験者をつけるというが、作業が未経験かあらかじめわかるのか」「習得した作業のリストはあるのか」などを質問しました。

その結果「技能の確認表を作成し管理している」「本人が自信がないという作業にはつかせない」などを確認しました。また、さらに安全な作業ができるように十分な教育を実施することを強く求めました。

# 制服の洗濯は会社が責任を持っておこなうこと！

制服の洗濯について、洗濯機不足により、各自が自宅に持ち帰り洗濯している状況のため、大変不便を感じています。また、衛生面を考え会社で責任を持っておこなうことを要求しました。

SEK側は「制服は自己の責任で管理するのが基本と考えている」と回答しました。

組合側は「自己の責任というが紛失した場合は個人の責任か」「持ち帰って洗濯している状況を認識しているのか」と質しました。

その結果「制服の洗濯は第一修繕の洗濯場で対応しており、もっていけば対応はする」「台車検査時の作業服も第一修繕で対応できると思う」ことを確認しました。

また、団体交渉後に「第一修繕の洗濯場は場所が遠くて利用しづらい」ということが新たな問題として浮上しました。



今後は、SEK社員誰もが利用しやすいシステムにすることが求められています。

大井基地で働く皆さん！労働条件・職場環境を改善するため共に声を大きくあげましょう。JR東海労新幹線地本は皆さんと共に取り組みを進めます。